

最終プレゼン評価軸（1/3）

担当として割り当てられた数名分の最終プレゼン資料を、最終プレゼン例も参考に、以下の項目ごと採点しましょう。

各項目ごと、Lv1 (=1点)、Lv2 (=2点)、Lv3 (=3点)、Lv4 (=4点)のどのレベルにあてはまるかを判断し、レビューシステム上で、最も当てはまる選択肢を選んでください。

なお、全項目共通で、最終プレゼン例のレベルで記載できている場合は、" Lv3 (=3点) "の評価となります。また、最終プレゼンは一例であり完璧な解答ではありませんので、より優れたレベルで記載できていると判断した場合は、" Lv4 (=4点) "の評価をつけてください。

評価項目			評価の観点	最終プレゼン例で参照するページ	評価基準			
大分類	中分類	#			Lv1 (=1点)	Lv2 (=2点)	Lv3 (=3点)	Lv4 (=4点)
1. プレゼンテーション資料の分かりやすさ	論理性	1-a	論理的な説明ができているか	資料全体	各スライド内において、情報の取捨選択/構造化が <u>できていない</u>	各スライド内においては、情報の取捨選択/構造化が <u>できている</u>	各スライド内において情報の取捨選択/構造化が <u>できている</u> 、かつ、 <u>全体としても論理的にストーリーを展開できている</u>	<u>最終プレゼン例よりも情報の取捨選択/構造化、全体のストーリー展開が優れている</u>
	見易さ	1-b	必要に応じ適切な図表活用ができているか	資料全体 (特に図表を含む部分)	メッセージを伝えるために、必要に応じ図表を用いて説明 <u>できていない</u>	メッセージを伝えるために、必要に応じ図表を用いて説明 <u>できているが、必ずしも分かりやすくない</u>	メッセージを伝えるために、必要に応じ分かりやすい図表を用いて説明 <u>できている</u> <ul style="list-style-type: none">業務フローをまとめる際に、ただの箇条書きではなく、工程ごとに整理できているアクションプランをまとめる際に、構造毎に線表が引けている、等	メッセージを伝えるために、必要に応じ <u>最終プレゼン例よりも分かりやすい図表を用いて説明できている</u>
	理解し易さ	1-c	提案内容全体をスライド1枚程度で理解できるサマリを作成できているか	ご提案サマリ (p.4)	全体のストーリーが分かるサマリが <u>含まれていない</u>	全体のストーリーが分かるサマリが <u>含まれているが、端的にまとまっていない</u>	全体のストーリーが分かるサマリが <u>含まれており、端的にまとまっている</u>	全体のストーリーが分かるサマリが <u>含まれており、最終プレゼン例よりも端的にまとまっている</u>
2. 経営判断の実施可否	現状・目的理解	2-a	顧客企業の現状と、それを踏まえた今回のAI導入プロジェクトの目的を十分説明できているか	背景・目的 (p.2)、現状の整理 (p.5)	現状・目的理解の <u>要素が含まれていない</u> <ul style="list-style-type: none">現状、目的の片方しか記述できていない場合含む	現状・目的理解の <u>要素が含まれているが、当該企業の現状・目的を整理できていない</u>	現状・目的理解の <u>要素が含まれており、当該企業の現状・目的を整理できている</u>	<u>最終プレゼン例よりも分かりやすく/詳細に</u> 、当該企業の現状・目的を整理できている

最終プレゼン評価軸 (2/3)

評価項目			評価の観点	最終プレゼン例で参照するページ	評価基準			
大分類	中分類	#			Lv1 (=1点)	Lv2 (=2点)	Lv3 (=3点)	Lv4 (=4点)
2. 経営判断の実施可否	実現性	2-b	提案内容の実現性判断に必要な要素を十分説明できているか	*PBL01_需要予測、PBL02_不良個所自動検品は提案内容と実現できること(p.6)、モデルの精度・特性(p.7)、使用イメージ (p.8) *PBL03_加工図面自動見積は提案内容と実現できること(p.6)、モデルの精度・特性(p.8)、使用イメージ (p.9)	実現性の検証の 要素が含まれていない <ul style="list-style-type: none">実現性検証に必要な、提案内容、モデル精度、仕様イメージ、モデル運用フローの要素が一部欠けている場合含む	実現性の検証の 要素が含まれているが、実現性が低い 提案となっている <ul style="list-style-type: none">現場オペレーションにはまらない提案となっている、等	実現性の検証の 要素が含まれており、実現性も高い 提案となっている <ul style="list-style-type: none">現場オペレーションを加味してAI導入後の業務フローを設計できている、従業員がAIを使う際のUIも検討できている、等	実現性の検証の 要素が含まれており、実現性も高い 提案となっており、より 具体性があるなど最終プレゼン例より実現性が高い
					投資対効果を判断するのに必要な 要素が含まれていない <ul style="list-style-type: none">効果、費用の片方しか記述できていない場合含む	投資対効果を判断するのに必要な 要素が含まれているが、一部定量効果の算出ロジック・定性効果の根拠・費用の記載に納得感がない 部分がある	投資対効果を判断するのに必要な 要素が含まれており、定量効果の算出ロジック・定性効果の創出根拠・費用の記載に納得感がある	最終プレゼン例よりも定量効果の算出ロジック・定性効果の根拠・費用の記載に納得感がある
					アクションプランの 要素が含まれていない	アクションプランの 要素が含まれているが、各アクションが整理されておらず実現プロセスが不明確	アクションプランの 要素が含まれており、各アクションが整理されていて実現プロセスが明確 <ul style="list-style-type: none">システム実装、業務定着等項目ごと線表がひかれている	最終プレゼン例と比較し、必要と思われる項目が追加されていたり、より詳細な粒度で、アクションプランが整理されたりしている
3. 共通	創意工夫	3-a	プレゼン全体を通じ内容・表現方法等において創意工夫があるか	資料全体	内容・表現方法等において、 創意工夫はない	内容・表現方法等において、 創意工夫はあるが、プレゼンの有効性には寄与していない	内容・表現方法等において、 創意工夫があり、プレゼンの有効性に寄与している	内容・表現方法等において、 独自性が高い創意工夫があり、プレゼンの有効性に大きく寄与している

最終プレゼン評価軸（3/3）

ここからの5問は、採点のスコアには反映されませんが、プレゼン資料の作成者には開示されます。

4 良かった点、自身のプレゼンに取り入れたい点を記入してください (回答は任意です。)

5 ここを改善するとよりよいプレゼンになる、という点を記入してください (回答は任意です。)

6 その他コメントがあれば記入してください (回答は任意です。コメントの共有等希望される場合は、slack名を含めるなどして作成者へのメッセージとしてご活用頂いても構いません)

7 ここまでは、評価の観点に基づき資料を採点頂きました。評価の最後として、視点を切り替え、ご自身がレビュアーではなく、中小企業の経営者であったとしたら、というつもりでお答えください。本提案を受けてAI導入をすると思いますか？する/しないの2択でお答えください。(本設問は、採点のスコアには反映されません。こういったプレゼン資料が、意思決定に繋がりやすそうかを分析するための質問です。)

- AI導入をする
 - AI導入をしない
-

8 最後に、今回採点頂いた最終プレゼン資料が 修了に値しないと思われる場合は、以下の「修了に値しない」にチェックをお願いします。※「修了に値しない」にチェックした方は、理由もお答えください（必須記入）

例. 提出された資料が表紙しかなく、プレゼンの中身がない／全ての設問が★1つで評価が低い 等